



# ほけんだより6月



令和2年6月9日  
荒川区立汐入こども園  
園長 大山 祐子  
看護師 大熊 トシ子

梅雨の季節になりました。雨が続くため、湿度が高く蒸し暑い日があると思えば、肌寒い日もあります。雨上がりに急に気温が上昇し、体が暑さに慣れずに熱中症になりやすいのもこの季節です。今年、マスクをしていることが多いため、エアコンを上手に使用し健康管理に気をつけましょう。

## 新型コロナウイルス感染症の拡大防止にご協力ください！

感染が広がる経路には、くしゃみや咳でウイルスが飛び広がる飛沫感染と触れた所からうつる接触感染があります。そのため、乳幼児が集団で生活する保育施設では、食事や午睡、遊び等で濃厚に接触することが多く感染が生じやすいと考えられます。

現在こども園では、『保育園における新型コロナウイルス感染症に関する手引き』に準じて、適切な手洗いの実施や、給食や午睡時には距離をとり間隔をあけるなどの対策を行っています。お子さんの体調についてご心配、ご相談があるときは、担任また職員室まで声をおかけください。

今後も、流行の第2波が心配されています。三密をさけるため、また園舎内の消毒のため送迎などご不便をおかけしていますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 子どもの歯の健康を保つために

<むし歯予防のポイント！>

- ① 寝る前の仕上げ磨き ② 正しい食生活 ③ 定期的に歯科健診

夏はアイスやジュースなど甘いおやつをとる機会が増えます。おやつは時間を決め食べ過ぎに注意しましょう。むし歯ができる前から、かかりつけの歯科医にかかり、寝る前の仕上げ磨きのコツなどを教わるといいですね。

## こども園の虫よけ対策

蚊がわからないように、排水溝にボウフラ抑止剤を使用しています。保育室やベビーカーには電池式の蚊取り器を使用し、散歩に行く前は、虫が嫌うハッカ油入り（薬剤なし）の虫よけを子どもの服や足元にスプレーするなど対策を予定しています。

刺されると腫れやすいお子さんは、自宅で虫よけを塗布してから登園するなど、ご協力をお願いします。こども園では、虫よけを預かることはできません。

強く腫れる、化膿しやすい時は、かかりつけ医で相談しましょう。

（刺されやすいお子さんは、ノースリーブや短パンを避けるなど服装にも注意しましょう。）

